

令和7年度 林分条件調査表

森林管理署	岩手南部森林管理署遠野支署	
物件番号	1	
物件名	森林環境保全整備事業(小友第一地区)	

林小班	保安林 種別等	主要樹種	林齢	事業区分	伐採方法	面積 ha	伐採率 %	平均 胸高 直径 cm	立木資材量			生産量			予定作業量															最寄り市町村 からの距離 km	備 考		
									本数	材積 m ³	m ³ /本	N m ³	L m ³	計 m ³	伐倒 方法	数量 m ³	集・造材 方式	数量 m ³	小運搬巻立					森林作業道作設		林地保全		土場 作設等 h	砂利 数量 m ³			薬剤 散布 (スミハ ム)	鉄板 規格*枚数
																			フォワーダ 片道運搬距離 m	ダブル付キタック 片道運搬距離 m	数量 m ³	グラブ付キタック 片道運搬距離 m	数量 m ³	林地傾斜 緩・中・急 m	延長 m	2種 編柵 m	緑化 m ²						
214へ2	水涵保	スギ	49	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	1.69	33	24	598	265	0.44	160		160	全木	265	プロセッサ	160	90	160			緩									21.9	
214へ3	水涵保	スギ	49	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	3.21	33	24	1,135	503	0.44	320		320	全木	503	プロセッサ	320	103	320			緩									21.9	
216い	水涵保	スギ	65	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	16.23	25	22	4,238	1,570	0.37	953	97	1,050	全木	1,570	プロセッサ	1,050	315	1,050	5,600	1,050	中									22.9	
216ろ1	水涵保	スギ	48	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	4.14	25	20	1,263	394	0.31	223	12	235	全木	394	プロセッサ	235	156	235	5,800	235	中									22.9	
216ろ2	水涵保	カラマツ	47	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	4.23	25	16	1,044	205	0.20	81	29	110	全木	205	プロセッサ	110	740	110	5,300	110	緩									22.9	
216ろ3	水涵保	スギ	48	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	4.64	25	23	873	435	0.50	258	12	270	全木	435	プロセッサ	270	367	270			緩									22.9	
216ろ4	水涵保	スギ	48	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	0.58	25	26	116	69	0.60	29	1	30	全木	69	プロセッサ	30	60	30	5,300	30	緩									22.9	
216ろ7	水涵保	カラマツ	93	誘導伐	複層伐	6.02	46	24	1,195	607	0.51	334	31	365	全木	607	プロセッサ	365	557	365	5,300	365	緩									22.9	
216ろ8	水涵保	カラマツ	48	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	2.75	25	24	481	250	0.52	139	1	140	全木	250	プロセッサ	140	101	140			緩									22.9	
216ろ9	水涵保	スギ	45	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	0.20	25	26	45	27	0.61	15		15	全木	27	プロセッサ	15	352	15			緩									22.9	
																											167					バックホウ(0.45m3)	
																													324			砕石(C-80)	
																													324			砕石(岩ズリ)	
																													6,840 (460)			希釈後の薬剤散布数量 (原液数量。150倍希釈)	
合計						143.09			42,855	17,068	0.40	10,659	341	11,000		17,068		11,000		11,000		5,990		22,221	0	0	167	648		3m×96枚 300日			

1 量の端数は単位以下第1位を四捨五入し、単位止めとする。
2 面積は伐採面積とする。
3 森林作業道作設の林地傾斜欄は以下の区分とする。
緩: 0° ～20° 、中: 20° ～30° 、急: 30° 以上
4 最寄りの市町村役場(支所含む)からの距離欄は、物件番号毎の代表箇所について市町村役場を記入し、距離は単位以下第1位止めとする。
5 伐採箇所、土場、森林作業道作設予定線(既設集材路含む)、編柵および沢については、作業計画図に図示する。
6 その他必要な項目があれば備考欄に記載する。